

2022年1月27日

各位

会社名 株式会社新生銀行  
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之  
(コード番号 : 8303 東証第一部)

## 「2022 Bloomberg Gender-Equality Index」の選定について

当行は、Bloomberg社による「2022 Bloomberg Gender-Equality Index」(以下、「GEI」)に、3年連続で選定されました。GEIは、企業の男女平等や職場環境改善への取り組み状況、情報開示や実績などを評価するために、Bloomberg社が開発した男女平等指標です。2022年は世界で418社、うち日本企業からは12社が優れた企業として選出されています。



新生銀行グループでは、多様性の実現を経営の重要課題に位置付け、ダイバーシティ&インクルージョンを推進しており、女性活躍推進について重点的に取り組んできました。このうち、女性人材育成プログラムでは、直属の上司・オーナー役員が業務を通じた育成に責任を持つことに加え、ライン外の役員がスポンサーとしてサポート・育成に携わる「スポンサー制」を導入するなど、女性のキャリア開発に積極的に取り組んでいます。本プログラムについては、一般社団法人日本経済団体連合会の「各キャリアステージにおける女性のエンパワーメントに向けたベストプラクティス2021」<sup>※1</sup>において事例紹介されました。なお、当行の統合報告書2021<sup>※2</sup>では、女性役員(取締役・監査役)比率の向上が、新生銀行グループの経営にどのようなポジティブインパクトをもたらしているのか等について議論した女性役員による座談会を掲載しております。

新生銀行グループは、社員一人ひとりにあった働き方の選択肢を提供する「働き方・デザイン」の取り組みを掲げ、全従業員を対象とする在宅勤務制度やサテライトオフィスの拡充、男性の育児をサポートする休暇制度の導入など、時間と場所にとらわれない自由な働き方を促進しながら、性別にかかわらず仕事と生活の両立についても支援しています。

今後も、多様なバックグラウンドや考え方を持つ人たちが交じり合い、イノベーションを生み出し切磋琢磨する環境を整え、組織の持続的な成長につなげていくとともに、多様性豊かな社会の実現に向けて貢献していきます。

■ 新生銀行グループのダイバーシティ推進



※1 日本経済団体連合会 <https://www.keidanren.or.jp/policy/woman.html>

※2 統合報告書 2021 <https://www.shinseibank.com/corporate/ir/arir/2020.html>

Bloomberg 社によるプレスリリースはこちらをご覧ください(英文)

<https://www.bloomberg.com/company/press/bloomberg-2022-gei/>

金・融 リ・デザイン  
Redesigning Finance

以上

お問い合わせ先

新生銀行 グループ IR・広報部

報道機関のみなさま: [Shinsei\\_PR@shinseibank.com](mailto:Shinsei_PR@shinseibank.com)

株主・投資家のみなさま: [Shinsei\\_IR@shinseibank.com](mailto:Shinsei_IR@shinseibank.com)